



2024-25年度 上田ロータリークラブ

- 会長 金子 良夫 ● 副会長 柳澤 雄次郎・三井 英和
- 幹事 酒巻 弘 ● 会報委員長 小林 浩太郎



第2966回例会 (令和6年12月2日)



ホームページQR

[ゲスト紹介]

金子 良夫 会長

上田西高等学校 サッカー部

- ◆ 名誉顧問 武田 善和 様
- ◆ 監督 白尾 秀人 様
- ◆ 保護者会長 小山 謙一 様

[地区ガバナー賞表彰]

20年在籍者

- 滋野 真さん

[慶祝]

お誕生日 4名

- 窪田 秀徳さん
- 増澤 延男さん
- 関 勇治さん
- 柳澤日出男さん

事業創立記念月 6名

- 伊藤典夫さん
- 酒巻 弘さん
- 柄澤章司さん ● 春原宏紀さん
- 小林秀茂さん ● 関 啓治さん

皆出席 4名

- 島田甲子雄さん(36年)
- 柳澤日出男さん(30年)
- 上島 孝雄さん(29年)
- 桑原 茂実さん(26年)

[米山奨学生 金 セハさんへ奨学金の授与]

米山奨学生
金 セハさん



[会長挨拶]

金子 良夫 会長

本日、卓話をいただきます上田西サッカー部の指導者の皆様、ようこそ当クラブ例会にお越しいただきました、後ほどのお話楽しみにしています。



さて、先週金曜日、土曜日と東近江ロータリークラブを訪問してまいりました。

八日市ロータリークラブと上田ロータリークラブは、1974年、昭和49年5月24日、友好クラブを締結しました。友好クラブとなってからは五十周年となる記念すべき年でした。

まず、勉強会を開催して、古澤会長から、東近江ロータリークラブの事業の説明を受けました。「こども食堂に対する支援事業」「地元高校生と共に造るチャレンジガーデン」「鹿による食害被害を防ぐための森づくり事業」「就職希望の高校生への模擬面接事業」「東近江ロータリークラブ杯ドッジボール大会」について説明を受けました。どの事業も素晴らしいと思いましたが、私は特に、こども食堂支援、高校生への模擬面接事業、ドッジボール大会について興味を持ちました。懇親会等を通して、会長さんから詳細な説明を受けて、東近江ロータリークラブの事業への取り組み方に熱意を感じました。我がクラブでも東近江を見習わなくてはいけないと思いました。また、10人の会員増強を目指し、毎月新入会員を迎えているというお話、女性会員が現在7名ですが、更なる女性会員増強を目指していくというプランなど勉強になることが多く、事業、クラブ運営でも教えられることが多く、このことだけでも行ってよかった感じました。

二日目は源氏物語で有名な石山寺参拝、叶 匠寿庵での食事会というプランでした。

「未来へつなぐ仲間と共に～継ぎよう想いの力～」が東近江のテーマですが、まさしく、東近江ロータリークラブと上田ロータリークラブは、両クラブの仲間の友好の輪をともに継ぎ、更なる50年をともに歩んでいきたいと思います。お互いに誓い合う交流になりました。

東近江クラブから皆様へのお土産を預かってまいりました。

参加メンバー12名からは、今回訪問地でのお土産をラッキー賞として提供いただきました。ご賞味ください。

先週例会後、東近江の交流のきっかけ岡治兵衛さん、岡昌樹さんは兄弟ではなく親子であるのご指摘受けました。また今年度友好締結五十周年になると資料を添えて教えていただきました先輩たちに感謝申し上げ、本日の会長挨拶といたします。

[ゲスト紹介] 上田西高等学校 サッカー部様 ゲスト紹介 竹田 和徳さん

本日はお招きしたのは上田西高等学校のサッカー部の関係者の方でございます。私が知ってる小山謙一さんは保護者会長として就任してから「子供を全国大会に連れて行く」という果てしない野望を抱いて、そして今回子供たちを連れて行くことになりました。その皆さんの想いを聞いていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。



[ゲストスピーチ]

保護者会長 小山 謙一様

本日は、この会に参加させていただき誠にありがとうございます。現在、サッカー部としては強化合宿中ということで、選手また3年生も頑張っております。一つでも勝ち残り、また1日でも長く東京にいられるように、私達保護者、また皆様のご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。



名誉顧問 武田 善和様

皆様あらためましてこんにちは、上田西高等学校・副校長の武田義和と申します。ここに名誉顧問として書いてあるんですが、名誉は全くありません。29歳の時にご縁がありまして東京から上田に来まして、白尾現監督の前に監督をしていました。上田ロータリークラブ様には(有)イーグル開発の成澤社長がいらっしゃいますが、彼が高校1年生の時に一緒にサッカーをしました。彼は上田東高等学校で全国大会4連覇されたときのすごい選手です。そのころから上田西高等学校に入り37年経ちます。その間にサッカー部の監督をし、現在の白尾監督で好成績を残すことができております。私も顧問として何かお手伝いできることはあるかということで、本日資料を3つ用意しました。



一つ目は、ユネスコスクールから「持続可能な教育の取り組み」ということで、能登半島震災の記事があります。本校の生徒が1月1日能登地震を受けまして、お正月休み中に生徒会で連絡をとりながら1月7日の始業式から募金活動を始めました。そしてお金の支援だけではいけないんじゃないかということから、3月の春休みを利用して震災の現場に入り支援物資の仕分けをしました。たまたま先日の豪雨災害の時支援が終わりましたらその豪雨を避けるように学校へ帰ってきております。そのような活動が認められ、ユネスコスクールから「持続可能な教育の取り組み」にて生徒会が表彰されております。本日がちょうど授賞式です。本日の資料を作成した新聞

委員会もこの秋、長野県で最優秀賞を取りました。新聞委員会も学校や上田市内で起きる事柄を新聞に取り上げて随時発表をしております。上田西高等学校というと野球を中心としたスポーツ学校というような感じを受けるかと思いますが、地道な努力をしている生徒も沢山おります。

もう一つの資料は「心理的競技能力」といって、「アスリートが競技場面で必要とする精神力メンタル」ということについてサポートできないかと皆様のお手元にあるアンケートを生徒にとりました。文章の中で「正々堂々、力を発揮して戦いましょう」とありますが、上田西高等学校のサッカー部では「勝てる、優勝できる」という言葉は使わずに、「3年間のその力を発揮すればできる」という言葉を使っています。その「できる」にはいろんな想いが生徒たちの中に込められていると思います。本来ならこれ回収して、私達が選手や部員の心理状況を分析するということになるのですが、これをあえて大会2週間前に渡しました。そして生徒には「保管しておきなさい、回収はしません。これは確認シートとして、競技者としてどういう心理面強化しなくてはいけないか、あるいは自分が今どんな状態にいるのか確認しましょう。弱点を確認してもう一度気持ちを奮い起こして戦いに向かいましょう。」と言いました。アンケート内で5番目、「協調性」というものがあります。「チームに貢献する気持ち、団結心、協力、励ましができる」などありますが、特に3年生は34名いますが、レギュラーメンバーとそうでない選手がいます。その選手がどんな気持ちで一緒に戦えるか、そこがやっぱりチーム一丸というところの一番大事なところなんです。大会においてピッチで戦ってる選手は、自分の思い通りレギュラーとなって活躍するチャンスがありますが、それぞれプレッシャーがあるわけです。そういう想いの中で、1年生2年生にポジションを奪われて3年間やってきた努力が応援という立場に回ったとき、自分の役割は何か。そんな認識をしてもらいたいという想いがこの5番目には入っています。前回の大会のときに、グラウンドでレギュラー選手が円陣を組みました。その時キャプテンが「苦しくなったらスタンド見ろ、スタンド見れば俺達は勇気が湧く」と言いました。その中の言葉に「スタンドには出れない3年生が涙流しながら俺たちを応援してくれて。毎日お弁当を作ってくれて、洗濯をして綺麗なユニフォームで練習ができるようにお父さんお母さんが応援してくれた、あるいはおじいちゃんおばあちゃんがスタンドにいる。あるいは小中学校の恩師も見ている。そういう人たちの前で俺たちは恥ずかしくない試合をやらなきゃいけない。だからスタンドを見たらそういう人たちの顔を見て勇気もらう。苦しくてももう1回戦い直そう」というような言葉が入ってました。その想いは前回ベスト4まで勝ち上がった原動力になっていると思います。今回もアンケートを取りながらまだ回収してません。もう1回気持ちを奮い起こさせたいと思っております。3年生がこの大会が始まる前日に私のところに来まして、「先生、今年白尾監督を絶対全国大会に連れて行きますよ。」と言いました。土台にそのような想いがあるってことが大事なんだと思います。どんなに厳しいトレーニングを積んできても、一丸となって勝つぞという意識がチームに生まれたとき、100%

ではなくて120%、あるいは思わぬ力を発揮すると思います。今年はそのような年になったのかなって思っております。

資料下半分の「11の美德」と書いてありますが、これはドイツサッカー協会が最近出したものです。先ほど会長からお話がありましたがドッジボール大会をしてみて、素晴らしい礼儀正しさが競技者にあるかと。日本の学校体育はそういうものを求めてきました。「相手をリスペクトして、しっかりと挨拶ができる人間になろう」とか、「感謝の気持ちを忘れないように」など土台を作りながら、学校スポーツというのは発展してきたと思います。ドイツはカタールでのワールドカップでは1-2で日本に負けました。その後再び日本との親善試合を受けまして、ドイツは「返り討ちをする」ということでしたが、そのゲームでも1-4でドイツが負けています。そのときにドイツサッカー協会では「もう一度チームを強くするためにどういう方法が必要なのか」を見直しました。そしてできたのがこの「11の美德」というものになります。私も古い人間ですが、道徳教育など今の教育にそういうものが必要かとか、いろいろなことがあるわけです。しかし土台にはやはりこういうものがなくてはいけないと感じています。「規律・勇気・決意・準備・忍耐・チームスピリット・リスペクト・ポジティブな取り組み・コミュニケーション・情熱あるいは任務のタスクを果たす」というような選手をドイツサッカー協会が求めているそうです。最近どの年代カテゴリーでもドイツが優勝するようになり、FIFAランクも上がってきました。白尾監督もそういうところを大事にしながらチームを作ってるってということと、競技者としては必要なもの周りへの感謝の気持ちだったり、責任を果たすということを持ったりすることが大切とお伝えしてまいりました。あるいは学校教育の現場としてもそういうものを子供たちに話をしながら、その競技に励んでもらいたいと考えています。結果として、勝つか負けるか、そのときの結果で何を学ぶのか、そういうような学校スポーツとしてサッカー部の理念をお話させていただきました。ありがとうございました。

監督 白尾 秀人様

今日はこのような会に参加させていただき光栄に思います。まず上田西高等学校サッカー部の中で、青少年育成について取り組んでいることを話していきたいと思います。

スタッフ紹介させていただきます。

私は鹿児島県の与論島出身です。人口5,000人で、牛が多いです。高校2年までは地元のチーム所属で3学年合計15人ぐらいのチームでした。奇跡的に県の選抜に選ばれて、恩師の小嶺忠敏先生と出会いました。その後転校し、インターハイ、選手権と全国大会出場することができました。選手権のときには、1回戦で松商学園と当たるという縁もあり、試合は先制されたんですけども結果は2-1で勝ちました。その後プロとしてJ2のヴァンフォーレ甲府に加入しました。次いで2006年ごろ北信越1部だった松本山雅FCに当時在籍の土橋宏由樹さんに「一緒に松本山雅をJリーグに上げよう」とお誘いを受け松本山雅FCに加入しました。そのときの出会った彼女が



いましたので長野県に残り、色々なチームに行きました。東海大学付属諏訪高等学校、地球環境高等学校、野沢南高等学校と複数の学校を経験している中で全国大会に対して想いを強く持っていました。そのような中、タイミングよく上田西高等学校の武田先生から体育の先生やってみないかということで、上田西高等学校に2016年から勤務しております。指導2年目の2017年に全国3位という結果になりました。現在は指導9年目になります。

2人目のコーチは岡山県出身で小学校のときに全国大会準優勝しました。その時に現在日本代表の三苫薫選手と決勝で対戦をしたというエピソードもあります。ポジションはキーパーで熱意あるコーチです。

3人目のコーチは静岡県出身で信州大学を出て上田西高等学校に来て、指導1年目です。高校生時代は静岡の国見高等学校です。こちらの小山謙一さんも上田東高等学校で全国大会に出ています。その時に2人は対戦した縁もありまして現在一緒に活動しております。上田西高校のOBとして地元のアルティスタ東部(現:アルティスタ浅間)で2008年に長野県選手権に優勝しました。そして上田西高等学校に来て長野県選手権大会3位となりました。山梨学院大学にも在籍をしていましたが、現在は東御市立東部中学校の教諭をしながら空いた時間に上田西高等学校でサッカーの指導を行っております。

あと武田副校長に総監督として入っていただき、元日本代表の山本昌邦さんにもサポートいただいております。最後にスペシャルアドバイザーですが、私をJリーグ選手にくださった方で、前田大然選手や吉田麻也選手のエピソードなどを生徒たちに話していただくなど生の声を聞かせていただいております。

現在選手90名とマネージャー5名の合計95人で活動を行っております(県内選手が11人、寮生26人)。目標を高く持つことを大切にして、個人とチームの目標として、例えば「1日も欠席しない、遅刻しない」などまずは日常生活をしっかりと正してから、サッカーもしっかりやるということ。先生方や仲間から応援されるような選手になって頑張っていこうと伝えています。実際に選手の指導は難しいです。中学校の部活からの生徒もいます、クラブチームの選手もいます。中学校の部活選手だとコロナ禍もあり朝の練習もなく、夕方の練習も時間短縮などの世代です。クラブチームでもなかなか練習ができるほど人が集まらないなど、いろいろな問題がある中で規律を持ってどうやってこのチームを全国に行かせようか非常に悩みました。チームごと合宿しながら、3学年全部合わせての合宿、強化試合、強豪校との練習試合を重ねました。長所を伸ばし短所を克服すること、みんなで共通した理解を増やしています。一番大事にしたいのは、「勝者の言動をしよう」ということです。1人でも「今日どうせ負ける」などのマイナスなこと言わず、「今日勝つためにどうするべきか」がクセになるように言葉と動作でもって活動しています。その中でIDPというものがありますが、サッカーだけではなくライフスキルとして「テクニック(技術)、フィジカル(体力)、タクティクス(戦術)、メンテナンス(持続)」の4つの行動の中でサッカーの技術を伸ばすということを事細かく説明しております。以前は

サッカーやってこいって簡単に言えばよかったです、今の時代は言葉を添えて選手に説明し、何をすべきか頭で整理させながら、自分の能力を最大限に活かせるように指導しております。選手たちが卒業してからも大学もしくは就職、そして立派な大人になる、地元に戻ってきて活動する、応援される人間になって欲しいです。マザーテレサさんの言葉を借りながら「サッカーとサッカー以外のところは全部繋がってますよ」と伝え、思考⇒言葉⇒言動⇒習慣⇒性格⇒運命というサイクルがあると選手に伝えております。その結果で今回も長野県選手権で優勝できたのかなと思います。

最後に上田西高等学校の旋風を起こせるように頑張っていきたいと思います。上田からJリーガー、上田をサッカーの街に、上田西高等学校で人工芝を入れて地域の方が交流できるような場所にしたいと思っています。今後ともよろしく願います、ありがとうございました。

【幹事報告】

酒巻 弘 幹事

1. RI the rotarian 12月

2. 地区事務所

2024-25年度 第1回デジタル化推進

委員会オンラインセミナーのご案内

現時点での地区補助金進捗状況調査について

ガバナー月信12月号 電子ブックURLのお知らせ

3. 上田西RC 新春合同夜間例会のご案内

4. 原峠保養園 サッカーゴールネットの御礼

5. 例会変更 軽井沢RC 12月23日(月) 定受なし

12月30日(月) 定受なし

令和7年1月6日(月) 定受なし

長野北東RC 12月2日(月) 定受あり

12月9日(月) 定受あり

12月16日(月) 定受あり

12月23日(月) 定受なし

12月30日(月) 定受なし

令和7年1月6日(月) 定受なし

1月13日(月) 定受なし

1月20日(月) 定受なし

長野東RC 12月18日(水) 定受なし

12月25日(水) 定受なし

令和7年1月1日(水) 定受なし

1月8日(水) 定受なし

1月15日(水) 定受なし

1月29日(水) 定受あり



【ニコニコBOX】

佐藤 倫 委員

石井懋人さん 伊藤典夫さん 小熊直人さん 小幡晃大さん 織英子さん 金子良夫さん 柄澤章司さん 木本昂さん 窪田秀徳さん 桑澤俊恵さん 桑原茂実さん 小林秀茂さん 小松佳樹さん 小山宏幸さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 佐藤倫さん 滋野眞さん 島田甲子雄さん 島田太一さん 春原宏紀さん 関啓治さん 関勇治さん 滝沢秀一さん 瀧澤亮介さん 竹田和徳さん 田中克明さん 田邊利江子さん 成澤厚さん 三井英和さん 宮川泰さん 矢島康夫さん 柳澤日出男さん 湯田勝己さん



本日喜投額 34名 ￥80,000

累計 ￥847,500

【例会の記録】

司会：保科 茂久 会場・出席委員

斉唱：国歌・ロータリーソング

- 地区ガバナー賞表彰 20年在籍者 滋野 眞さん
- 慶祝 ●米山奨学生 金 セハさんへ奨学金の授与
- 会長挨拶 ●幹事報告
- ゲストスピーチ 上田西高等学校 サッカー部様

【ラッキー賞】

- 酒巻 弘さん(比田井美恵さんより パイナップルケーキ)
- 織 英子さん(柳澤雄次郎さんより 叶 匠寿庵の御菓子)
- 小松 佳樹さん(金子良夫さんより レーズンサンド)
- 武田 善和さん(金子良夫さんより えびせんべい)
- 白尾 秀人さん(三井英和さんより 甲州信玄餅)
- 桑澤 俊恵さん(小熊直人さんより たねやのぜんざい)
- 桑原 茂実さん(酒巻 弘さんより 甲州信玄餅)
- 小山 謙一さん(窪田秀徳さんより 京都走り井もち)
- 滋野 眞さん(木本 昂さんより 甲州信玄餅)
- 矢島 康夫さん(小幡晃大さんより パームクーヘン)
- 酒井 喜雄さん(滋野 眞さんより 雪中梅)
- 柳澤日出男さん(藤森幸路さんより パームクーヘン)
- 小山 宏幸さん(小林浩太郎さんより 近江牛ラーメン)
- 島田 太一さん(湯田勝己さんより 叶 匠寿庵の栗羊羹)

【出席報告】 竹田 和徳 委員



	本日	前々回 (11/18)
会 員 数	52	52
出席ベース	50	48
出席者数	41 <small>コロナ欠席1</small>	39
出席免除(b) <small>()内は出席者数</small>	4(2)	4(0)
メイクアップ <small>()内はMake up後</small>		2(41) <small>コロナ欠席0</small>
出席率	84.00	85.42

【次回例会予定】

12月16日(月) 年次総会

『ロータリーの友』紹介

(12月9日発行)

【会報担当】 瀧澤 亮介 会報委員